

記録映画アーカイブ・プロジェクト 第2回ミニワークショップのお知らせ

日時：2014年12月12日（金）18:00-20:00（開場は17:30）

場所：東京大学本郷キャンパス 工学部2号館9階93B教室

<http://media-journalism.org/access>

上映：NHKスペシャル『カラーでよみがえる東京』

（2014年10月19日放送、NHK総合、73分）

ゲスト：岩田真治さん（NHKディレクター）

定員：80名（当日先着順。定員になり次第、締め切り）

*参加無料・申込み不要。満席となった場合、ご入場できないことがありますのでご了承ください。

主催：

東京大学大学院情報学環記録映画アーカイブ・プロジェクト

記録映画保存センター

内容：

これまで4年間、12回にわたり開催してきた記録映画アーカイブ・プロジェクトのワークショップは好評裏に終了しましたが、装いも新たに小規模のワークショップ（研究上映会）を再開しました。

第2回目となる今回は「記録映画の新しい活用例（1）—白黒フィルムのカラー化」と題して、記録映画のカラー化の試みについて考えます。

20世紀は映像の時代と言われ、多くの記録映画が制作されました。

しかし1950年代までその多くはカラーでなく白黒で記録されてきました。いまこれらの白黒フィルムをカラー化する試みが、ヨーロッパのテレビを中心に、注目を集めています。

今回のワークショップでは、先頃放送され反響を呼んだNHKスペシャル『カラーでよみがえる東京』を上映します。ゲストにはこの番組を担当した岩田真治さんをお招きし、カラー化の意味や課題、今後の展開についてお話を伺います。

お問い合わせ：

記録映画保存センター（運営窓口）

Tel：03-3222-4249

Email：center_otoiawase@kirokueiga-hozon.jp

第2回 記録映画アーカイブプロジェクトミニワークショップ

2014年12月12日

上映作品

NHKスペシャル『カラーでよみがえる東京～不死鳥都市の100年～』



2020年のオリンピック・パラリンピックを招致するTOKYO。



世界の巨大都市の中で、東京だけが経験してきた歴史がある。100年の間に震災と戦争によって2度焼け野原となり、そこから不死鳥のようによみがえった不屈の歩みだ。それはどのように成し遂げられたのか？



NHKは、東京を撮影した白黒フィルムを世界中から収集、フラン



スのプロダクションと協力して現実にはできるだけ近い色彩の復元に挑んだ。色を取り戻した映像からは、2度の破壊のすさまじさ、そこから立ち上がった庶民の喜怒哀楽など、歴史のリアルな手触りが生き生きと伝わってくる。今回、NHKがタッグを組んだのは第二次世界大戦の映像をカラー化したシリーズ「APOCALYPSE」を製作したフランスの



CC&C社。彼らが開発した最新のテクノロジーと、国内外の専門家



100人以上と時代考証を行いながら、番組制作は進められた。

スタッフ プロデューサー 東野真 デレクター 岩田真治 解説 松平定知・八千草薫

撮影 原伊知郎 音楽 佐藤直紀 CG 根来佳代 編集 梅本京平

再放送 NHK総合テレビ 2015年1月1日 午後4時45分～5時58分

<http://www.nhk.or.jp/special/phoenix/>